



皆様方の 声なき声を 大切に

日置町議会議長

永尾 修



町民の皆様には、お健やかに希望に満ちた新春をお迎えることと、心からお慶びを申し上げます。

「光陰矢のごとし」と申しますが、早いもので昨年は町制施行二十周年を迎え、記念式典では、町民皆様方とともに決意を新たにしたところであります。この間、国内外の諸情勢は正に一変し、必然、地方自治体の実相も大きく変貌を遂げまいりました。

バブルがはじけ永い不況の中で、今日の私共の生活は以前にも増して厳しい現実にはさらされております。

しかしながら、この受難の時代をただ嘆くのみではなく、力を合わせ英知を寄せ集め、このかけがえのない古里をしつかりと次世代につなげていかなければなりません。

さて、少子化、高齢化社会を迎え、福祉対策の充実は無眉の急となっており、介護保険制度の導入は、現下の一大関心事となっておるところであり、その円滑なる施行を強く望んでおるものであります。議会と致しましても、町民皆様方の声なき声を大切に、本制度の実効を期してまいりたいであります。

ご案内のように、本町の諸



施策、諸事業は、狩音ダムの建設、圃場整備を始め、漁港修築、道路改良、そして又、一連の学校建築、上下水道、観光整備等々、正に時宜を得た展開がなされてきたものと存しております。

私は、このような町ご当局の時代を先どりしたご英断に深く敬意を表するものであり、一方で、議会と致しましても、常に住民皆様方の血税の重みを充分に肝に銘じながら、慎重審議を尽くしてまいっておるところであり、ご理解をお願いするものであります。

よく政治不信の声を耳にし、又、議会に対する色々な忠告もお聞きしておりますが、私は、町民皆様方に真実の姿を

知っていたいただき、同時に多くの方々が、町民皆様方の生活の安定、向上と福祉の充実に向けて、自ら議席を求め、お骨折りをいただきたいと存じております。

議会は議決機関として、執行部とは一線を画した、極めて重要な機関であり、今後とも財政運営の健全化、効率化のため充分に意を注ぎながら、活力とうるおいのある町づくりのために邁進してまいりたい存であります。

今後とも、特段のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、町民皆様方のご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。